

チーム九谷展Ⅶー吉祥如意ー



## チーム九谷展Ⅶ ―吉祥如意―に寄せて

元日の大地震から復興途上にあった石川県の能登地方が記録的な豪雨により、またもや甚大な被害に見舞われました。コロナ禍に続く大地震、そして集中豪雨、度重なる自然災害に対して、我々は如何に無力であるかを思い知らされます。

災害の大きかった珠洲や輪島の作家たちを支援する活動が各地で行われ、チーム九谷の作家たちも何かと多忙を極めています。みなで力を合わせて「第7回 チーム九谷展」を発信していきたいと思っております。今回のテーマ「吉祥如意」は、福は眼前に在りという意味で、多くの幸運が思いのまま訪れることを願った言葉です。中国の古陶磁を見ていますと、今年の干支である龍、鳳凰や蝙蝠、鹿や桃など吉祥文が多く描かれています。今展では、一日も早い復興を願って、十人の作家の思い描くところの「吉祥如意」の作品が出品されます。

齋藤まゆの《銀杏》は、白い余白をうまく生かした4本の銀杏の樹木を図案化した茶碗です。高台部分には根の張った太い幹を描き、その根元から新しい銀杏が育っています。その新しい銀杏を大きく茂った銀杏の樹木が包み込み、命の循環を描いています。

田島正仁の《陶額 彩釉「海」》は、海をイメージした平面作品ですが、濃紺から白へのグラデーションが見事です。やきものの平面作品に挑む作家は何人かいますが、マンション生活者にとっては嬉しい作品です。常に挑戦し続ける作家の姿勢には頭が下がります。

田村星都の《細字萬葉集和歌梅文香爐》は、家伝の九谷毛筆細字技法による香爐作品です。鶯の留まる梅の枝を全面に散らし、萬葉集の序と梅の和歌4首を書き入れています。「初春の令月にして気よく風やはらぎ梅は鏡前の粉を抜き蘭は珮後の香を薫らす」の和歌は、令和の年号の出典になりました。

徳田八十吉の《彩釉香炉・祭華》は、闘病生活を経て制作された彩釉花器《紅の扉》 彩釉瓶《祭華》 彩釉花器《沙華》の三部作から生まれた作品です。緑と紫のグラデーションが魅力的で、正面に描かれた一筋の赤い光が、まるで命の炎のように輝いて見えます。

中田博士の《真珠光彩合子》は、独特な輝きを放つ真珠光彩の合子で、上蓋のふっくらとしたフォルムから醸し出される雰囲気は魅力的です。そのやさしい雰囲気は、じつは緊張感のある4つの稜線から生まれてくるのではないのでしょうか。小品ながら凛とした作品です。

福永幾夫の《色絵細密飾瓶 舞音(まいね)》は、青地と白地に塗り分けた丸い壺で、地球を表現しているのでしょうか。青地には唐草文、白地には音符と唐草が描かれています。舞音とは心躍るという意味だそうです。そういえば、文様が音楽に合わせて踊っているようです。

見附正康の《赤絵細描 羽紋盃》には、楕円の中に孔雀が羽を広げたような文様が描かれています。見込には風車のような八枚の羽根が描かれ、高台の周囲を蔽う羽にも動きがあって魅力的です。こんな盃でお酒を飲めば、きっといいことがありそうな気がします。

牟田陽日の《淡青磁 龍ぐい呑》《黄磁 麒麟ぐい呑》は、確かな描写力で描かれた龍と麒麟のぐい呑です。中国では「龍鳳呈祥」(龍鳳、祥を呈す)の吉祥句に代表されるように、万霊の長である龍や、百鳥の王である鳳凰が姿を現すことが最高の瑞祥と言われました。麒麟はその鳳凰から生まれた鸞鳥で、泰平の世に現れると言う霊獣です。

谷敷正人の《半月器》は、水指なのかもしれませんが、あまり水指であることを意識せず、「めぐる感じ」を表現してみたそうです。左右で大きさの違う半月を金彩と銀彩で表し、末広がりになった口と胴の削りが、如何にも「めぐる感じ」を彷彿とさせます。

吉田幸央の《金襴手彩色水指》は、何層にも上絵を塗り重ねて生み出されたもので、赤、黄、緑の三色の上に金箔を施したモダンな意匠です。水指は、胴に段を付けた末広がりを目出度い形です。金沢や小松も場所によっては大きな被害を受けました。九谷焼の復興のため、その中心となって頑張っています。

森 孝一 (美術評論家・日本陶磁協会 常任理事)

## チーム九谷展 VII - 吉祥如意 -

会 期 令和6年11月15日(金)～20日(水)  
会期中無休

開廊時間 11:00～19:00  
※ 最終日の11月20日(水)は17:00まで

出品作家 齋藤まゆ  
[在廊予定日]  
田島正仁  
田村星都 未定  
徳田八十吉 11月19日(火)～20日(水)  
中田博士  
福永幾夫 未定  
見附正康 未定  
牟田陽日 11月16日(土)  
谷敷正人 11月17日(日)～18日(月)  
吉田幸央 11月15日(金)～17日(日)  
(五十音順)

会 場 柿傳ギャラリー  
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11  
安与ビル 地下2階  
TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335  
MAIL gallery@kakiden.com



柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram

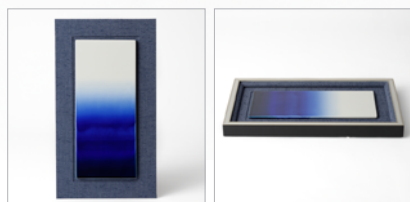
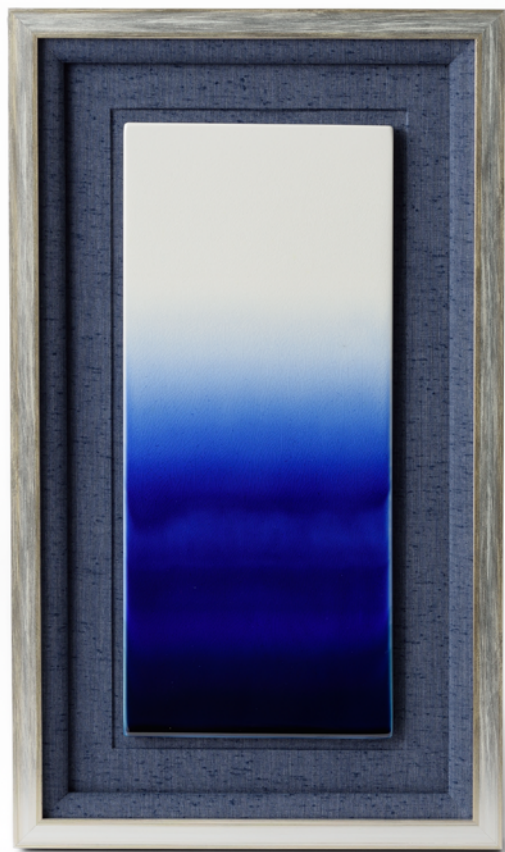


お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



齋藤まゆ  
Saito Mayu

平成5年 東京家政大学 卒業  
平成11年 石川県九谷焼技術研修所 卒業  
平成20年 金沢卯辰山工芸工房陶芸工房 修了  
平成25年 第54回 石川の伝統工芸展 入選、金沢西病院 陶壁制作  
平成27年 第10回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)  
平成30年 第74回 金沢市工芸展 金沢市工芸協会会長奨励賞  
令和元年 金沢マラソン 2019 男子部門入賞トロフィー制作  
令和3年 笠間陶芸大賞展 2021 審査員特別賞 / 花里麻理賞 (茨城県陶芸美術館)  
令和4年 第45回 伝統九谷焼工芸展 奨励賞  
パブリック・コレクション 金沢卯辰山工芸工房、金沢西病院、茨城県陶芸美術館  
パラミタ陶芸美術館



## 田島正仁

Tajima Shoni

昭和 23 年 石川県小松市生まれ  
 昭和 53 年 中日国際陶芸展 外務大臣賞  
 平成 3 年 '91 金沢工芸大賞 コンペティション優秀賞  
 平成 18 年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞  
 平成 22 年 伝統九谷焼工芸展 優秀賞 (平成 23 年、24 年、25 年、27 年)  
 平成 28 年 日本伝統工芸展 朝日新聞社賞  
 平成 29 年 伝統九谷焼工芸展 大賞・日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞  
 第 7 回 菊池ピエンナーレ 奨励賞・宮内庁買い上げ・日本伝統工芸展 鑑査委員  
 令和 元年 第 25 回 日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞  
 令和 3 年 第 61 回 石川の伝統工芸展 最高賞・知事賞  
 石川県陶芸協会 常任理事  
 石川県指定無形文化財保持団体九谷焼技術保存会 会員  
 日本工芸会 正会員

陶額 彩釉「海」  
 W32.5×D55.5×H4.0cm



## 田村星都

Tamura Seito

昭和 55 年 石川県小松市生まれ  
 平成 16 年 筑波大学 国際総合学類 卒業  
 毛筆細字 三代 田村敬星に師事する  
 平成 19 年 石川県立九谷焼技術研究所 実習科 修了  
 平成 22 年 石川県小松に工房を構える  
 平成 23 年 「田村星都 作陶展」 西武渋谷店  
 平成 26 年 「田村星都 作陶展」 日本橋三越本店

細字萬葉集和歌梅文香爐  
 φ11.3×H11.0cm



## 徳田八十吉

Tokuda Yasokichi

昭和 36 年 石川県小松市にて人間国宝・三代 徳田八十吉の長女として生まれる  
 昭和 58 年 青山学院女子短期大学 卒業  
 昭和 59 ~ 61 年 NHK 金沢放送局 (ニュースキャスター)  
 平成 2 年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業  
 平成 3 年 金平工房完成、工房にて製作活動開始  
 平成 9 年 英国ゲーツヘッド市で共同制作した陶壁が  
 ジャパン・フェスティバル賞・グランプリ受賞  
 平成 21 年 第 71 回 一水会陶芸部公募展 木下記念賞  
 平成 22 年 四代 徳田八十吉襲名、第 33 回 伝統九谷焼工芸展 大賞  
 平成 23 年 第 51 回 石川の伝統工芸展 奨励賞  
 平成 24 年 第 68 回 石川県現代美術展 エフエム石川社長賞  
 金沢城・兼六園大茶会 第 18 回 工芸作品公募展 奨励賞  
 日本工芸会 正会員

彩釉香炉・祭華  
 φ7.0×H9.5cm



## 中田博士

Nakada Hiroshi

昭和 54 年 石川県小松市生まれ  
 平成 15 年 GALLERY MARONIE 個展 (京都)  
 平成 17 年 金沢市工芸展 大賞  
 第 7 回 国際陶磁器展美濃 銅賞  
 平成 20 年 第 55 回 日本伝統工芸展 入選 以降九回  
 平成 21 年 第 56 回 日本伝統工芸展 新人賞  
 平成 27 年 第 23 回 日本陶芸展 特別賞 / 茨城県陶芸美術館賞  
 令和 2 年 第 67 回 日本陶芸工芸展 東京都知事賞  
 令和 3 年 石川県文化奨励賞  
 パブリックコレクション 東京国立近代美術館、茨城県陶芸美術館、菊池寛実記念 智美術館  
 日本工芸会 正会員

真珠光彩合子  
 W7.5×D7.5×H5.5cm



## 福永幾夫

Fukunaga Ikuo

昭和 36 年 石川県加賀市生まれ  
平成 21 年 第 12 回 日本伝統工芸士会作品展 京都府知事賞  
平成 23 年 日本伝統工芸士会 功労者表彰  
全国伝統的工芸品公募展 経済産業省商務情報政策局長賞  
平成 26 年 中部経済産業局長表彰 功労賞  
平成 27 年 創造美術展 文部科学大臣賞  
平成 30 年 北陸創造展 北国新聞社長賞  
令和 4 年 創造美術展 大賞  
令和 5 年 経済産業省大臣表彰 功労賞  
通産大臣認定 九谷焼伝統工芸士、創造美術会 北陸支部陶芸部 部長

色絵細密飾瓶 舞音  
φ16.0×H16.5cm



## 見附正康

Mitsuke Masayasu

昭和 50 年 石川県加賀市生まれ  
平成 9 年 福島武山氏に師事 (平成 19 年独立)  
平成 26 年 第 9 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)  
「Logical Emotion—日本現代美術展—」(スイス、ポーランド、ドイツ巡回)  
平成 27 年 「japanese kogei FUTURE FORWARD」(アメリカ)  
令和 元年 第 39 回 伝統文化ポーラ賞 奨励賞  
令和 2 年 「無形にふれる」(ポーラミュージアムアネックス)  
「令和時代の超工芸 和巧絶佳」(パナソニック汐留美術館)  
令和 3 年 「No Man's Land」(兵庫陶芸美術館)  
令和 4 年 「コレクション展1 うつわ」(金沢 21 世紀美術館)  
「ジャンルレス工芸展」(国立工芸館)  
令和 5 年 「ART de チャチャチャ日本現代アートの DNA を探る  
高橋龍太郎コレクション展」(WHAT MUSEUM)

抽選  
販売

赤絵細描 羽紋盃  
φ5.1×H5.0cm



## 牟田陽日

Muta Yoca

昭和 56 年 東京都渋谷区生まれ  
平成 20 年 ロンドン大学 ゴールドスミスカレッジ ファインアート科 卒業  
個展『A Tale of Two Suns』(Iniva、ロンドン)  
平成 24 年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業  
伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」優秀賞  
平成 26 年 「牟田陽日展」日本橋三越本館 6 階 美術サロン  
平成 28 年 アートフェア東京 KOGEI@kassi ~ selected by MITSUKOSHI 東京  
第 11 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞 (パラミタミュージアム)  
令和 2 年 作品集出版記念展「美の器」(日本橋丸善)  
令和 3 年 中村卓夫・牟田陽日二人展「やきもの・逸脱・リビングルーム」(銀座和光美術ホール)  
個展「眼の器」(銀座蔦屋 ATRIUM)  
令和 4 年 「ジャンルレス工芸展」(国立工芸館)

淡青磁 龍 ぐい呑 W8.8×D7.0×H7.7cm  
黄磁 麒麟 ぐい呑 W8.0×D7.1×H8.1cm



## 谷敷正人

Yashiki Masato

昭和 30 年 石川県小松市生まれ  
昭和 50 年 文化勲章陶芸家 二代 浅蔵五十吉先生に師事、10 年後独立  
昭和 59 年 石川県九谷焼技術研修所 実務者コース 卒業  
平成 14 年 石川県庁議会庁舎 エントランスホール陶板 制作  
平成 22 年 日本伝統工芸展 初入選  
平成 24 年 能美市美術展 審査委員  
平成 25 年 武腰 潤先生主宰の潤青舎設立に参加、同人となる  
平成 26 年 北陸新幹線開業記念の陶板制作  
平成 30 年 九谷上絵協同組合 理事長に就任  
令和 元年 陶美展 初入選  
令和 3 年 第 44 回 伝統九谷焼工芸展 会長賞「色絵金銀彩椿紋長角鉢」  
石川テレビ「リフレッシュ」出演  
日本工芸会 正会員、能美市茶道協会 会長、川端康成学会 会員

半月器  
W20.5×D20.0×H15.5cm



## 吉田幸央

Yoshita Yukio

昭和 35 年 石川県小松市生まれ  
昭和 57 年 金沢美術工芸大学卒業  
平成 4 年 伝統九谷焼工芸展 大賞  
平成 6 年 高岡クラフト展 金賞  
平成 11 年 陶芸ビエンナーレ'99 特別賞  
平成 12 年 現代茶陶展 TOKI 織部 銀賞  
平成 21 年 伝統九谷焼陶芸展 大賞  
平成 22 年 日本伝統工芸展 高松宮記念賞  
平成 26 年 第 19 回 MOA 岡田茂吉賞展 (熱海市 MOA 美術館)  
令和 2 年 Kogei2020 (東京国立博物館表慶館)  
未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ展 (国立工芸館 他)  
パブリックコレクション 石川県立美術館・小松市立博物館・茨城県陶芸美術館・宮内庁  
インディアナポリス美術館・ヴィクトリア&アルバート博物館

金欄手彩色 水指  
φ17.5×H15.5cm

## 価格表

|    | 作家名<br>作品名                                            |     | 本体価格/円<br>(税込価格/円)       | 作品サイズ (cm)                               |
|----|-------------------------------------------------------|-----|--------------------------|------------------------------------------|
| 1  | 齋藤まゆ<br>銀杏<br>[桐箱付・後日]                                | P5  | 130,000<br>(143,000)     | φ 108× H84                               |
| 2  | 田島正仁<br>陶額 彩釉「海」<br>[紙箱付]                             | P6  | 300,000<br>(330,000)     | W32.5× D 55.5× H40                       |
| 3  | 田村星都<br>細字萬葉集和歌梅文香爐<br>[桐箱付・後日]                       | P7  | 150,000<br>(165,000)     | φ 11.3 × H 11.0                          |
| 4  | 徳田八十吉<br>彩釉香炉・祭華<br>[桐箱付・後日]                          | P8  | 220,000<br>(242,000)     | φ 7.0× H9.5                              |
| 5  | 中田博士<br>真珠光彩合子<br>[桐箱付・後日]                            | P9  | 60,000<br>(66,000)       | W7.5× D 7.5× H5.5                        |
| 6  | 福永幾夫<br>色絵細密飾瓶 舞音<br>[桐箱付・後日]                         | P10 | 1,000,000<br>(1,100,000) | φ 16.0× H 16.5                           |
| 7  | 見附正康 抽選販売<br>赤絵細描 羽紋盃<br>[桐箱付・後日]                     | P11 | 75,000<br>(82,500)       | φ 5.1× H 5.0                             |
| 8  | 牟田陽日 抽選販売<br>淡青磁 龍 ぐい呑 [桐箱付・後日]<br>黄磁 麒麟 ぐい呑 [桐箱付・後日] | P12 | 各 300,000<br>(各 330,000) | W8.8× D 7.0× H 7.7<br>W8.0× D 7.1× H 8.1 |
| 9  | 谷敷正人<br>半月器<br>[桐箱付・後日]                               | P13 | 180,000<br>(198,000)     | W20.5× D 20.0× H 15.5                    |
| 10 | 吉田幸央<br>金欄手彩色 水指<br>[桐箱付・後日]                          | P14 | 400,000<br>(440,000)     | φ 17.5× H 15.5                           |

### 見附正康・牟田陽日 作品の販売方法

見附正康・牟田陽日 作品につきましては、誠に勝手ながら、**抽選による販売**とさせていただきます。どうかご理解を頂ければ幸いです。具体的な抽選の販売方法は、以下の概略をご覧ください。  
詳細は、お手数ですが、弊廊 HP (→) をご覧頂ければと存じます。



#### 1 ご応募方法

- ・11/15 (金)~11/17 (日) の三日間、それぞれ11:00~19:00まで、弊廊の店頭にて受付致します。  
店頭で配布する応募用紙にご記入の上、お申し込み下さい。
- ・メール、電話、手紙、FAX での受付は、申し訳ございませんが、承れません。
- ・恐れ入りますが、応募点数は、一人の作家につき、お一人様1点とさせていただきます。
- ・ご応募とご当選のキャンセルはお受けしかねます。ご了承の上、お申し込み頂ければ幸いです。
- ・転売を目的としたご応募は固くお断り申し上げます。

#### 2 抽選方法

- ・厳正な抽選の上、ご当選された方のみ、11/18 (月) 以降、Eメールでお知らせ致します。
- ・抽選に外れた皆様には、弊廊からご連絡を致しませんので、ご了承を頂ければ幸いです。
- ・恐れ入りますが、ご当選作品のキャンセルは承れません。



160-0022

東京都新宿区新宿3-37-11

石がやうい

YRELLGALLERYKAKI